

資料1

新型コロナウイルス感染症患者回復後の受け入れ病床確保について

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、この新型コロナウイルス感染者を受け入れる医療機関は安房地域には2施設あるが、これらの医療機関においても、今後さらに感染者が増え病床の逼迫も危惧される。

このため、鴨川市立国保病院は、こうした新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている医療機関と連携を図り、新型コロナウイルス感染症から回復したもののしばらくの間、入院が必要な患者の転院先として、一定の退院基準を満たした患者を受け入れられるよう、一部の個室病床を確保(空床利用)することとした。

そして、令和3年4月26日以降、新病院開院となれば、70床のうち66床が個室病床という有利性を活かし、感染回復患者の転院先医療機関として、可能な限り受け入れ対応を行うこととする。

1. 病床確保開始日 令和3年1月18日

2. 新型コロナウイルス感染症患者回復後の受け入れ人数

令和3年1月31日現在 3人

3. 参考

・千葉県内の新型コロナウイルス感染症患者回復後の受け入れ先の医療機関数

令和3年2月3日現在 50施設

(内、安房保健医療圏 3施設)

・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱い

- ① 新型コロナウイルス感染症から回復した後、引き続き入院管理が必要な患者を受け入れた医療機関において、必要な感染予防策を講じたうえで入院診療を行った場合、2類感染症患者入院診療加算(**750点**)を算定できることとした。

(令和2年12月15日付け厚生労働省保健局医務課事務連絡 その31)

- ② 新型コロナウイルス感染症から回復した後、引き続き入院管理が必要な患者を受け入れた医療機関において、救急医療管理加算(**950点**)を最大90日間算定できることとした。

(令和3年1月22日付け厚生労働省保健局医務課事務連絡 その34)

※上記①、②は両方算定可。ただし、算定日は事務連絡通知日以降。

新型コロナウイルス感染症予防接種「連携型接種施設」について

1 概要

鴨川市立国保病院は、この度県から医療従事者等へ新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を行う「連携型接種施設」として決定された。

今後準備が整い次第、当院で勤務する医療従事者（委託事業者も含む）のほか、地域の医療従事者等に対して、ワクチン接種を行っていく予定である。

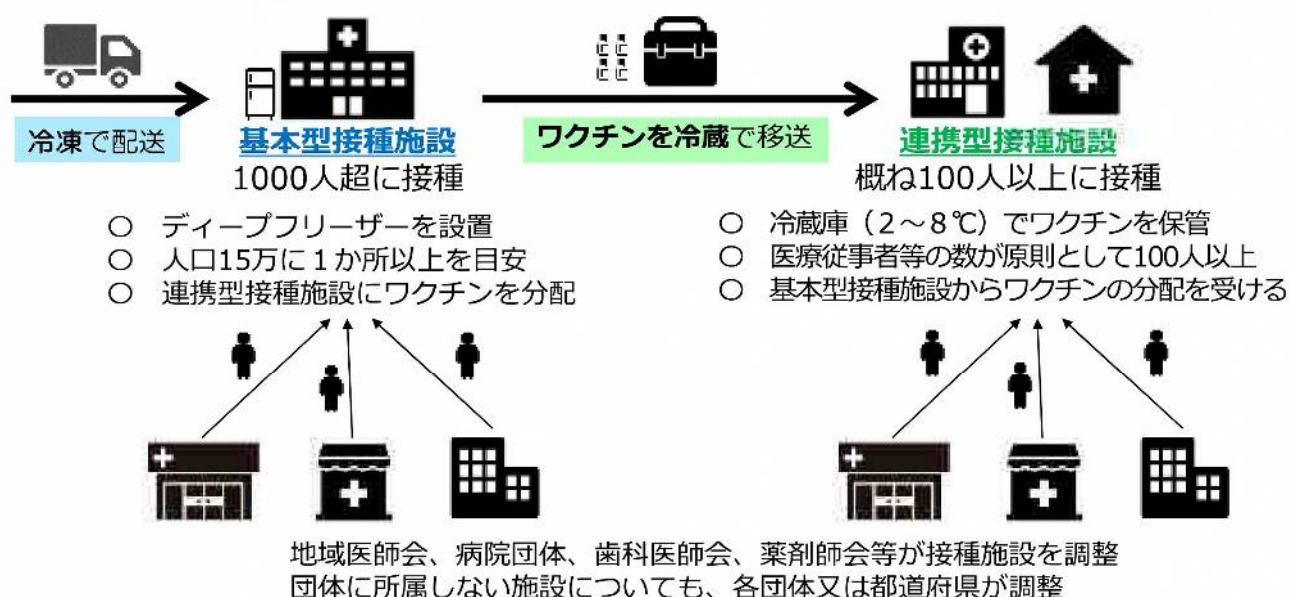
※ 地域の住民向けの接種施設については、現在安房医師会を中心に検討中となっている。

2 施設類型について

医療従事者等へワクチン接種を行う施設は、「基本型接種施設」と「連携型接種施設」があり、区別の違いは、下記のとおり。

医療従事者等への接種体制

- ディープフリーザーを設置する基本型接種施設及び基本型接種施設からワクチンの分配を受け接種を行う連携型接種施設が医療従事者等への接種を担う。
- 基本型接種施設及び連携型施設は自施設の職員への接種のほかに、地域の診療所や薬局、自治体等に勤務する医療従事者等の接種を行う。



3 県内の決定状況（令和3年2月1日現在）

医療圏	接種施設数		
	基本型	連携型	計
千葉県全体	71	212	283
うち安房	3	11（当院含）	14

4 主な新型コロナウイルスワクチンについて

海外で開発された以下のワクチンについて、国は各社と正式に契約を締結済み。

当初はファイザー社製のワクチンが接種される見込みとなっている。

新型コロナウイルスワクチンの特性（現時点での想定）			
	ファイザー社	アストラゼネカ社	武田／モデルナ社
規模	1.44億回分 (7千2百万人×2回接種)	1.2億回分 (2回接種が想定されており、その場合 6千万人分に相当)	5千万回分 (2千5百万人×2回接種)
接種回数	2回(21日間隔)	2回(28日間隔)	2回(28日間隔)
保管温度	－75℃±15℃	2～8℃	－20℃±5℃
1バイアルの単位	6回分/バイアル	10回分/バイアル	10回分/バイアル
最小流通単位 (一度に接種会場に配送される最小の数量)	195バイアル (1170回接種分)	10バイアル(100回接種分) ※供給当初300万バイアル分 2バイアル(20回接種分) ※残り900万バイアル分	10バイアル (100回接種分)
バイアル開封後の保存条件 (温度、保存可能な期間)	(室温で融解後、接種前に生理食塩液で希釈) 希釈後、室温で6時間	(一度針をさしたものを以降) 室温で6時間 2～8℃で48時間 希釈不要	(一度針をさしたものを以降) 2～25℃で6時間(解凍後の再凍結は不可) 希釈不要
備考	・医療機関では、ドライアイス又は超低温冷凍庫で保管 ※医療機関でのドライアイス保管は10日程度が限度 →10日で1170回の接種が必要 ※最大5日間追加での冷蔵保管可(2～8℃)		・医療機関では、冷凍庫で保管(－20℃±5℃)

※薬事承認前であり、
全て予定の情報です。

出典：厚生労働省・自治体向け説明会資料（1月25日）

国保病院長の交代及び保健医療参与の委嘱について

【国保病院長】

令和3年3月31日付けで、林 宗寛国保病院長(67歳)退任にともない、下記のとおり令和3年4月1日付けで後任の病院長が就任をする予定である。今後は、林 宗寛病院長が、これまで手がけてきたリハビリテーション機能の充実強化とともに、地域に根差した中核医療機関として病院運営を担っていく。

職 名	氏 名 (年 齢)	備 考
病院長	こやま てる ゆき 小山 照 幸 医師(61歳)	亀田リハビリテーション病院 副院長 日本リハビリテーション医学会指導医 日本心臓リハビリテーション学会指導医

[主な経歴]

昭和60年3月 聖マリアンナ医科大学卒
 “ 4月 昭和大学病院 小児科
 平成18年10月 東京都リハビリテーション病院 リハビリテーション科
 平成23年2月 東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科
 平成31年4月 亀田リハビリテーション病院 副院長

【保健医療参与】

国保病院では、医療法人鉄蕉会との協定締結により、国保病院の健全な経営並びに利用者の利便性の向上及び満足度の最大化を図るとともに、地域における医療・介護等の包括的サービスネットワークの確立を目指すこととした。

これにより、国保病院職員の資質向上のための教育研修をはじめ、地域医療の推進及び病院経営の健全化に向けて必要な事業の推進、加えて、新型コロナウイルス感染症対策など、今後さらなる医療連携が必要となる亀田総合病院を運営する当該医療法人から、識見を有する下記の者を保健医療参与として委嘱する。

職 名	氏 名 (年 齢)	備 考
保健医療参与	かめ だ とし ただ 亀 田 俊 忠 医師(69歳)	医療法人 鉄蕉会 名誉理事長 公益財団法人 日本医療機能評価機構理事 公益財団法人 日本医療機能評価機構「医療の質向上のための体制事業」執行理事

※委嘱の期間 令和3年2月22日～令和3年3月31日

[主な経歴]

昭和52年3月 東京慈恵会医科大学卒
 昭和57年4月 亀田総合病院 病院長
 (平成2年2月1日～平成4年1月31日 鴨川市健康づくり推進協議会委員)
 平成3年10月 医療法人 鉄蕉会 理事長
 平成20年6月 “ 名誉理事長